### 平成27年度 建設部 施策展開方針 計画書

## 1. まちづくり政策(建設部関係分)

#### 政策 政策展開の方向性 05

盤

市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすこと のできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の 市 充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。

基

平成27年度に向けての展開方針 (方針や重点事業の計画等を記載)

#### 05-01 市街地整備の推進

- ・江別の顔づくりでは、様々な都市機能の集積した中心市街地の形成を目指して、着実な基盤整備の推進を図り、中 心市街地の活性化を進めていきます。平成27年度は、野幌駅南通、鉄西線、天徳寺グリーンモール等の道路整備を 行い、駅周辺における土地利用の増進を図ります。
- ・市営住宅整備の推進では、住宅困窮者のセーフティネットを基本に、子育て世帯や高齢者が安全で安心に暮らせる よう住戸を整備していきます。平成27年度は、新栄団地B棟(48戸)が完成します。
- ・バリアフリーの街並みづくりでは、各駅周辺のまちづくりビジョンを明確にし、駅周辺のバリアフリー化の推進と利便性 の向上を目指します。平成27年度は、新しい江別駅跨線人道橋の取付道路及び駐輪場などの周辺整備を進めま

#### 05-02 交通環境の充実

- ・冬期間の交通の確保では、持続可能な除排雪体制の確立を目指して、除排雪の体制づくり、除排雪機械の更新、さ らには、除排雪事業の改善に取り組んでいきます。平成27年度は、市民、行政、事業者による協働の除排雪、除排雪 機械の更新、そして、除排雪事業の改善を進め、冬期の安全な道路環境づくりを進めていきます。
- ・安全で快適な道路環境づくりでは、「江別市通学路安全プログラム」に基づく合同点検で要望があった通学路の安全 対策(ハード対策)を進めていきます。平成27年度は、江別第二小学校通学路(元野幌182号道路)の歩道拡幅工事 に着手します。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7				7
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9				7
建設部が所管する個	別計	画また	は 重 点	事業	の進捗	状 況
「江別の顔づくり事業(街路事業等)」 事業進捗率(累計)	%	15				7
「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」 事業進捗率(累計)	%	51				7
「新栄団地建替事業」 建替戸数	戸	48				<b>∠</b>

#### 2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり) 「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」(都心開発課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

# 3. 建設部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	4,748,030	5,002,792			
	特別会計(B)	0	0			
	合計(A+B)	4,748,030	5,002,792			
正職員人件費(千円)	人工 (a)	72	74			
	平均単価(b)	7,824	7,822			
	人件費(a×b)	563,328	578,828			
総	額	5,311,358	5,581,620			